



日刊電力労千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)
電話(鉄電) 千葉 2935・2936番
(公) 043(222) 7207番

92.8.28 No. 3648

PKO・カンボジア出兵阻止 戦争の歴史が動かされた前夜

最初(今秋冬)
が肝腎 战争の歴史が動かされた前夜

（反対運動の決定的重要性）

一兵の死が日本を変える

数年前までは、多くの人々は「まさか今の日本が戦争を始めるなんて」と思っていた。

しかし、六月十五日のPKO法の強行「成立」・九、十月にも自衛隊が出兵されようとしている重大情勢の中で、「このまま行つたら本当に戦争になつてしまふ」と感じはじめている。

それほど事態は深刻であり、切迫している。

牧師の戸村政博氏は危機感をこめて、次のように訴えている。

「戦争は罪の無い者同士の殺しあ

いです。殺さなければ殺される」「平和」「貢献」という言葉の下で進行する戦争、この現実を直視しなければならない。「自衛隊を一步でもいいから派兵させよう。そうすればあとは五歩、十歩……いや千里だ」と政府は狙っている。

一人一人の反対運動が決定的に重要な時代になつた」と

“アジアの人々に二度と銃をむけるな”

この誓いを各々が胸にして、今秋季派兵阻止闘争に立とう。

（PKO出動KONO.）
自衛隊員のボンネット
一九九一年八月二十四日より

（現職自衛官）

A・法案が成立したて大多数の人は、国際貢献なんて全く関心がないのでは、オロオロしているのは自衛隊だけだ。

B・死人が出る覚悟で議論しないと不毛だ

C・おふくろから何回か電話があつた。絶対行くな。行くぐらいなら辞めて帰つてこいと。女房も泣くんですよ。

A・大体、政界とか財界とか、そういう力を持った人のむすこが自衛隊に入っているなんて聞いたことがない。

C・攻撃をうけてもし撃ち返して

自衛官を生むべくして
憲法改悪、
徵兵制復活までが！

高校生・中学生の七割りが
(海外派兵に反対)

出兵と憲法改悪、徵兵制攻撃は一体であることを見ぬかなければならぬ。

軍事評論家の藤井治夫氏も次のように指摘している。

「出兵が法を変える契機になり謀を見抜かなければならない」

今が、肝腎だ。

反戦・侵略・派兵反対の意思は脈脈と生き続けている。

中でも、最も深刻に考え、悩んでいるのが中・高校生である。最近のマスコミ調査では高校生の六割、中学生の七割が海外派兵に反対している。

更には、参議院選に示された史上最低の投票率、自民党得票率十六・連合公認候補の全員落選等

闘争に立ちあがろう。

など。これらは、侵略戦争への労働者・人民の総動員が全く成功していないことを立証している。

広範に生き続けていた反戦の声を行動に結びつけることによって歴史の大逆流は阻止できる。

たたかうアジア人民の弾劾・告発を受けとめ、二度と侵略の銃をとらない為に秋季反戦・派兵阻止